



総務省

Ministry of Internal Affairs
and Communications

地域人材ネット

「3つの環境(自然・文化・技術関連)資源」を
活かした地域産業づくり

田邊 敏憲 (たなべ としのり)

一般社団法人SRI 理事長



○ 登録者情報

所在地

東京都新宿区

略歴

- ・2018年、エアロディベロップジャパン株式会社(大型産業ドローン開発販売・サービス)を創業し、森林荷役ドローンや魚群探知海洋ドローンなどによる地域の第1次産業再生事業を目指しています。
- ・2015年来、一般社団法人SRI理事長として、全国の農林高校ネットワーク等との連携による地域産業創出の活動中(例えば、農林業者や高校生が担い手となる森林の木材資源をそのまま液体ガラスに含浸させ高付加価値化する新素材産業づくり)。
- ・一般社団法人日本経済調査協議会・地域再生研究会主査として、『再生エネルギーを軸とする地域成長戦略「八策」』及び『“土壌微生物力&先端技術”を基軸とする地域創造戦略「新八策」』を政策提言し、実践中。
- ・1998年来、(株)富士通総研経済研究所主席研究員や埼玉大学大学院、東京大学大学院、京都大学大学院などでの客員教授等として、地域産業づくりの実践研究・教育活動。
- ・1973年来25年間の日本銀行勤務で、日本全国、各地の産業調査・研究の活動。

著書・論文等

(地域創生関連の著(編)書・報告書)

- ・『“土壌微生物力&先端技術”を基軸とする地域創造戦略「新八策」』(2015年11月、日経調)
- ・『再生エネルギーを軸とする地域成長戦略「八策」』(2013年4月、日経調)
- ・『大逆転! 日本金融』(2003年4月、中央公論新社)
- ・『新資源大国を創る』(編著書)(2002年10月、時事通信社)
- ・『アジア効果で活気づく長崎』(1997年2月、東洋経済新報社)(主な論文)
- ・日本経済新聞・経済教室論文等多数

○「3つの環境(自然・文化・技術関連)資源」を活かした地域産業づくり

取組の内容

私は、地下鉱物資源こそ乏しいものの、森林、水、微生物多様性豊かな土壌、排他的経済水域など自然資源大国・日本の特性を活かした新産業づくりを研究、実践してきました。この際、哲学者の今道友信東京大学名誉教授が、ギリシア以降の西洋リベラルアーツ哲学に、20世紀に大きく飛躍した科学技術、さらには近年の地球生命圏の危機的様相を踏まえ、「自然哲学序説」で述べている「課題としての3つの環境(自然・文化・科学技術)形成」の視点で取り組んできました。

特に地方で大きな面積を資源として使う農林水産業における5つのバイオマス商品、すなわちFood(食料等)、Fiber(繊維)、Feed(飼料・餌料)、Fertilizer(肥料、土壌改良材)、Fuel(燃料)の市場に着目しました。具体的には、最も低価値のFuelでFIT導入という出口ができたタイミングでメタンガス発電事業、次いでFeed、Foodとしての藻栽培事業、そして土壌微生物多様性をもたらすリサイクル土壌改良材事業を、各事業会社との協業で進めてきました。

最近では、「“液体ガラスどぶ漬け”によるFiber(木質など)の高付加価値化事業」展開に、森林資源に富んだ地域創生の観点から関与しています。「森林荷役ドローン」での木材搬出、担い手教育と組み合わせた地方創生モデルを指導できます。

工夫した点や苦労した点

各地域の環境(自然・技術関連)特性の把握、及び企業家精神に富む民間、自治体のプレイヤー発掘、かつ地域外の専門性人材を組み合わせるといったシステムイノベーションとしての取り組みに努めてきた。

ひとことPR

各地域の特性を踏まえた「3環境(自然・文化・技術関連)形成」での新産業(職場)づくり専門家です。

○ 参考

取組の分類

地域人材ネットでは、登録者の取組を11の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

	1	地域経営改革		7	まちなか再生
○	2	地場産品発掘・ブランド化		8	若者自立支援
	3	少子化対策		9	安心・安全なまちづくり
	4	企業立地促進	○	10	環境保全
	5	定住促進		11	その他
	6	観光振興・交流			

関連ホームページ

一般社団法人SRI	http://www.sri-network.jp/
一般社団法人環境ロボティクス協会	http://www.e-robotics.jp
キャピタルアセットマネジメント株式会社	http://www.capital-am.co.jp

連絡先

メールアドレス	t-tanabe[アットマーク]dbsasia.jp	その他	
---------	----------------------------	-----	--

※メールを送る際には[アットマーク]を『@』に変えてください。